

2019

9

September
No. 318

広報

みしま



これまでの感謝と
これからの希望を胸に
令和元年度三島町成人式



成人式を迎えた皆さん、おめでとうございます

新成人の皆さんが生まれた年は…

平成10年（1998年）の出来事

- ・冬季長野オリンピック開催
- ・サッカーW杯フランス大会に日本が初出場
- ・映画「タイタニック」ブーム
- ・郵便番号7桁化
- ・横浜高校の松坂大輔投手が夏の甲子園決勝戦でノーヒット・ノーランを達成

平成11年（1999年）の出来事

- ・石原慎太郎さんが東京都知事に就任
- ・地域振興券（2万円分の商品券）を子ども、お年寄りなどを対象に政府が支給
- ・ミレニアムのカウントダウンが世界各地で催される
- ・携帯電話・PHSの番号が11桁化

令和元年度新成人者名簿

平成10年4月2日～
平成11年4月1日生まれ
(上段写真左から：敬称略)

氏 名	地 区
中 丸 拓	宮 下
二 瓶 北 都	西 方
五十嵐 忠 馬	大石田
五十嵐 梓	大 谷
大 竹 美 咲	滝 谷
小 林 美 幸	大 登
佐 藤 果 怜	宮 下
鈴 木 大 輔	桧 原
渡 辺 颯 人	大石田
細 堀 華	宮 下
半 澤 綾 乃	名 入
角 田 雄 大	川 井



恩師を囲んでの記念撮影（下段左から3人目より）木村仁根先生、青津伸一先生、石田浩美先生、角田昌子先生



①新成人一人ひとりに成人証書と記念品が手渡された
②思い出のつまった学び舎を訪問（三島小学校）
③当時の事を思い出しながら学び舎を巡った（三島中学校）



12人が 晴れの門出 三島町成人式

式終了後、新成人の皆さんは、三島小学校・三島中学校を訪問し、楽しかったこと、辛かったことなど、当時のことを思い出しながら、久しぶりに訪れた学び舎を巡りました。その後、この日のために駆けつけてくれた、小・中学校時代の恩師を交えて交流パーティーを開き、近況や思い出話に花を咲かせました。

令和の時代へ羽ばたいた新成人の皆さん。すでに就職して働いている方、学生の方、立場はそれぞれ違いますが、社会的な責任や義務、言動は、これからすべて「大人」としてみなされます。その重みを自覚し、この成人式で思ったこと、感じたことを忘れずに、自分の信じる道を真つすぐに進んでいただきたいと思います。

いつまでも
みずみずしい感性を

令和元年度三島町成人式は8月15日、交流センター1山びこで行われ、新成人12人の門出を祝いました。矢澤源成町長から新成人一人ひとりに、成人証書と記念品の桐の写真立てが手渡されました。続いて矢澤町長が「成人としての義務、責任を果たしながら、これからも皆さんの若くみずみずしい感性を大切にしてください。」と式辞を述べました。

次に、五十嵐健二町議会議長が祝辞を述べ、「皆さんには何事にも代えがたい未来があります。強い心身を養い、たくましい人間に成長してください。」と話しました。

新成人を代表して、五十嵐梓さんが「成人としての自覚を持ち、それぞれの人生を悔いのないよう、精いっぱい生きていこうと思います。」と誓いの言葉を述べました。



守岡会津地方振興局長から
感謝状を贈呈された矢澤町長

平成30年度の県民税徴収率が増加 町に優良感謝状を贈呈

福島県から三島町への県民税優良感謝状贈呈式は、8月20日に役場で行われ、守岡文浩会津地方振興局長から矢澤町長に感謝状が贈呈されました。県では毎年、県税の納税について功績のあった自治体に感謝状を贈呈しており、町は昨年度の県民税徴収率が増加するなど、賦課徴収状況が優秀であると認められました。感謝状を贈呈された矢澤町長は「感謝状をいただき光栄です。今後も町民の納税意識の高揚に努めてまいります」と喜びの言葉を述べました。

五十嵐朝子さん(大石田)が優勝 老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会

三島町老人クラブ連合会(会長:渡部重記)のグラウンドゴルフ大会は8月29日、町民運動場で開催されました。渡部重記会長(大石田)のあいさつの後、秦育雄副町長と五十嵐健二町議会議員が祝辞を述べました。32人の参加者が6つのグループに分かれて競技が開始され、日頃の練習の成果を競いました。前日までの雨でグラウンドコンディションが悪い中、ホールインワンも多数出て歓声が上がるなど、終始和やかにプレーしました。結果は五十嵐朝子さん(大石田)が優勝しました。



グラウンドゴルフ大会の様子

体育協会会津地域連合会優良団体賞 三島パープルレディースが受賞

第72回県民スポーツ大会会津地域大会が8月4日、喜多方市で開催されました。開会式において、町の家庭バレーボールチーム「三島パープルレディース」が過去の同大会における優秀な成績が認められ、体育協会会津地域連合会の優良団体賞を受賞しました。チームを代表し、目黒仁美さん(宮下)が大橋哲男会長より表彰を受けました。

今年は同大会への出場はなりませんでした。来年以降も三島パープルレディースの活躍を期待しています。



大橋会長から表彰を受ける目黒仁美さん

第9回「撮」っておきのみしま町 フォトコンテスト表彰式

「撮」っておきのみしま町フォトコンテスト表彰式は、8月24日、交流センター山びこで行われました。コンテストには53人から125点の応募があり、三島町長賞には佐藤賢一さん(宮下)の作品が選ばれました。応募作品は9月23日まで交流センター山びこに展示されています。

【入賞者】三島町長賞:佐藤賢一さん▶教育長賞:橋本光五郎さん▶写団道奥21会長賞:松木リツ子さん▶交流センター山びこ賞:二瓶朋子さん、舟木孝治さん



入賞者の皆さん:左から舟木孝治さん(宮下)、橋本光五郎さん(早戸)、佐藤賢一さん(宮下)、松木リツ子さん(郡山市)

西方チームが打撃力で栄冠 地区対抗ソフトボール大会



3年ぶりの優勝を果たした西方チームの皆さん



開会式の様子



猛暑の中、熱戦が繰り広げられました

お盆恒例の地区対抗ソフトボール大会は8月14日、町民運動場で開催され、宮下、大登、滝谷、西方の4地区から5チームが参加しました。お盆休みで帰省した方々も多数参加し、太陽が照りつける暑さの中でしたが、参加された皆さんは和気あいあいと楽しくプレーしていました。結果は大量得点を重ねた西方チームが優勝しました。

【大会結果】

優勝:西方チーム

2位:宮下チーム

3位:大登Aチーム

【最優秀選手】

目黒慎吾さん(西方チーム)

【優秀選手】

板橋淳也さん(宮下チーム)

岩瀬良太さん(大登Aチーム)

な か ゆきの 名嘉雪乃さんが町広報記者を体験

8月6日、名嘉雪乃さんが町広報記者を体験しました。雪乃さんは、特別町民で、おばあさんが浅岐地区出身です。現在は沖縄県那覇市に住んでおり、夏休みの課題である職場体験を、特別町民でもある三島町で行いたいということから町を訪れました。今回の取材は「暑さ」を題材として、暑さをしのぐ町内の涼しいスポットの取材を行いました。滝谷地区の「風穴」や高清水、桑原地区などの「清水」取材を行いました。

また、早戸地区のつるの湯温泉のヤギの放牧による雑草の処理の様子も見学しました。雪乃さんの取材の様子は町ホームページ「町の出来事

みしま通信」のコーナーに掲載されていますので、ぜひご覧ください。



名嘉雪乃さん
(小学校6年生)

1. 矢澤町長と名刺交換を行いました
2. 早戸地区のヤギの放牧を見学
3. 取材を終え写真と記事をホームページに掲載します



空き家コラム

空き家セミナー
開催しました！！

8月15日、空き家の利活用を目的とした空き家セミナーを開催いたしました。お盆で暑くお忙しい中、想定していたよりも多くの方が参加してくださり、質疑応答では多くの質問が飛び交い、参加者の方々の関心の高さが伺えました。



〈セミナーの様子〉

☆ IORI 倶楽部事務局長 金親丈史氏の講演ポイント ☆

- どんな状態の空き家でも、人と場合によっては使えます！！
- 例 1. 水回りなど最低限の設備を整え、お金をかけずに住む
 - 例 2. 大規模な改修をして、空き家を生まれ変わらせる
 - 例 3. 解体するしかない物件でも古材として再利用する
- 人によっては魅力となる場合もあります。空き家に関しては、ご自身だけで価値を判断せず、また一人で問題を抱え込まず、ぜひ早めにご相談ください！

☆参加者からの主な質問内容☆

不動産の相続財産について

- 山や畑、共有地などがあるが、場所を把握しきれない場合は、どうしたらよいか？
⇒ 隣地所有者や地区の方への聞き取りなど、相続人の方に努力していただくしかないところです。

空き家バンクについて

- 賃貸と売却ではどちらがいいですか？売れやすい価格などありますか？
⇒ 物件や状態によって変わりますが、移住者の多くは最初から物件を取得することを躊躇われる傾向があります。三島町では、積雪期の管理ができないということで、無償で譲渡されるケースもありますが、まずは賃貸で様子を見て気に入ればそのまま取得していただくという流れがよいのではないのでしょうか。

空き家改修等補助制度について

- 補助制度はいつまで続きますか？
⇒ 現時点での制度廃止は考えておりませんが、町の財政事情により制度内容が変わる可能性もありますので、お早めにご検討ください。
- 工事の依頼は町内業者に限られますか？ ⇒ 原則町内業者としておりますが、町外業者でも可です

☆今回のセミナーでお伝えした相続・登記についての基本的事項を今後当コラムにて連載していきます。

協力隊コーナー Vol.5
吉垣 絵梨子



地域政策課で移住コーディネーターをしている吉垣です。あっという間に季節はめぐり、この業務につき、丸一年が経過しました。その間やってみてはどうかと温めてきた空き家セミナーを実施することができました。初めての試みでしたが、想定よりも多くの方が来てくださり、また切実な問題を抱えている人に届いたようで、やってよかったと思っています。空き家のことは一朝一夕には解決していきませんが、池に投げられた小石の波紋のように、少しずつ可能性が広がっていくといいなと思います。



暑かった夏も少しずつやわらぎ、秋の気配を感じるようになりました。2年目となり生活に少し余裕が出てきたので、今年はプランターでミニトマトを育てたり、駐車場の隅で枝豆やオクラなどを育てたり、緑のカーテンを作りました。植物の生長とともに暮らす日々は何と心豊かな気持ちになります。来年はもう少し背伸びをして、畑を借り、もっと色々育てたいなと想い膨らませています。

*広報では紙面の都合上、インタビューを抜粋して掲載しています。

こちらで全文確認できますので、もしよろしければご覧ください。

奥会津三島町での日々 <https://okuazumishimamachi.hatenablog.com/>



移住者インタビュー

三島町には様々な想いを持って移住された方がたくさんいらっしゃいます。インタビューを通して、空き家の利活用や移住定住のきっかけ、三島町の新たな魅力発見につながればと思います。移住者インタビューを連載します。

その4 はしもとみつごろう
橋本光五郎さん(68歳)
早戸地区在住

二度目の勤めであった香川栄養学園(女子栄養大学)を、人生二度目となる定年退職をして、2016年7月に千葉県松戸市より移住。佐久間建設工業㈱に地元の材を、ほぼ100%使って建ててもらったこだわりの家で、ご夫婦二人で「第三の人生」(ご本人の表現)を謳歌されています。



『第三の人生』

「三島町に移住したいきさつ」
定年退職をしたら、今までとは全く違う場所で全く違う生活をしたかった。65年間都会で生活し、松戸のマンションへはただ寝に帰るだけの日々。生活の場ではあっても最後まで住み続ける場所という感じではありませんでした。また、自分には「根っこ」、ここが実家と呼べる場所がなかった。ここが自分の場所」というところがほしく、50歳の頃から「終の棲家計画」を始めました。

奥会津との関りは、遡ること30年以上前になります。最初の勤め先であった東洋大学のセミナーハウスが以前、金山町の橋立にあり、子どもが小さい頃から家族で通っていました。子どもが独立してからは夫婦二人で趣味の写真撮影を兼ねて通っていましたが、平成23年7月に新潟・福島豪雨災害が発生したことをきっかけに、奥会津に移住することを考えるようになりました。

古民家を改修して住むことも考えましたが、自分が思っているような家にするには予算がかかりすぎたので土地をお借りし、家を建てさせていただきました。

「今の暮らしについて」
生活するための原風景、人間の営みとして自然なものがここにはあると思っています。昔は気分転換に写真を撮りに行っていました。今はほとんど写真を撮っていません。毎日が新鮮で充実しており、サラリーマン時代のような「息抜き」をする必要が全くありません。冗談で早戸一の畑持ちと言われるくらい畑を借り、集落の人に教わりながら農作業をしています。全くの素人でしたが、耕耘機やチェーンソー、除雪機などの機械も使えるようになりました。もし、移住せずマンション生活を続けていたら、最近話題の引きこもり老人になっていたかもしれません。

「早戸地区について」
コミュニティに入った暮らしがしたいという思いがありました。早戸地区は三島町の中でも小さい集落なので、縁もゆかりもない自分たちが受け入れてもらえるのかという不安がありました。しかし、このままでは早戸が集落として消えてしまうのではないかとこの危機感が集落の人の中にあつたのでしようか、とてもよく受け入れてもらっています。

そして佐久間建設工業㈱とが協力して進めてきた景観整備事業が今年で10年になります。昨年度からこの事業に関わっていますが、大学生と関わるのは、大学事務職員としての経験や知識を生かしているの、これからどう展開していくかと楽しみです。早戸地区は佐久間建設の佐久間社長を中心に早戸を元気にしたいと色々やられていますし、やっていくとさいているので、今思うとすごくいい場所を選んだと思っています。

「これからの移住定住について」
私のように、定年退職後は都会を離れて生活したいと思っている人は多くいると思います。しかし、どうしたらよいかかわからず不安で一步を踏み出せない人もいます。とあります。一步踏み出せないリタイア世代に「安心しておいで」と背中を押してあげるような仕組みづくりが必要なのではないかと思っています。リタイア世代には時間もありますし、それまでの経験や知識、技術などがあります。もちろん介護保険を少しでも使わないようにしてはならないでしょうが、「何かやりたい」と思っているリタイア世代を活用する、そういう町づくりを展開していくてはどうかと思っています。



落語の後の交流会

文・写真 本名与四郎さん(西方)



8月24日、西隆寺にて行われた「西隆寺夕涼み寄席・三遊亭竜楽独演会」終了後、場所を本堂から庫裡に移し竜楽さん御夫妻を交えた交流会が開催されました。遠藤由美子さんらの手作り料理が振る舞われ、参加した皆さんは美味しい料理に舌鼓を打ちながら楽しい一時を過ごしました。新潟県や山形県の銘酒も味わいながら、町内外から集まった落語ファン達が時間が経つのも忘れ、交流を深めました。



つるの湯温泉遊歩道の刈り払い

文・写真 佐久間絹江さん(滝原)

7月28日、早戸地区の方々と滝原ボランティアこぶしの会合同の温泉神社周辺と遊歩道の刈り払いが行われました。朝霧の立ち込める中、男性は刈り払い機械を、女性は温泉神社、あずま屋周辺、船着き場への道の除草を草刈り鎌を使用して実施しました。時折雨の降る中、約1時間ほどでボランティア活動が終了しました。高齢者の多い早戸・滝原地区ですが、これからも地区住民で力を合わせ、美しい景観を守っていききたいと思います。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



住民参加でお寺・お宮周辺をきれいに

文・写真 小島 純さん(宮下)



宮昌寺護持会(栗城隆彦会長)と三島神社総代会(細掘清総代長)では、お盆を前にした7月29日、宮昌寺と三島神社境内の清掃奉仕作業を行いました。地区住民の協力のもと、刈り払い機作業を中心に実施しました。参加者の皆さんは、宮昌寺と三島神社を訪れる方々が、気持ちよく参拝できるように、一生懸命作業に汗を流しました。



ふるさとの入り口とふるさとの川周辺をきれいに

文・写真 小島 純さん(宮下)

宮下部落委員会(近藤勇彦会長)では、お盆を前に町民運動場下のロータリーと只見川と大谷川合流地点の河川敷の刈り払い作業を行いました。お盆に帰省される方や観光で訪れる方々が気持ちよく来町できるよう毎年実施しています。これからも、地区住民が協力し美しい景観を維持していけるよう努力していきたいと思っています。



早戸地区に「一棟貸ヴィレッチ」がオープン

文・写真 橋本光五郎さん(早戸)



早戸地区に新たに一棟貸切りの素泊まりの宿が、8月にオープンし、それに先駆け7月30日に内覧会が開催されました。当日は、地区住民や町関係者をはじめ多くの方々が見学に訪れていました。この宿は、佐久間建設工業が建設した施設をタカコモンズ株式会社が借り受けて運営するものです。施設は、東日本大震災の際に建設した仮設住宅を再利用した湯ノ平地内の「かわべり棟」(事務所を併設)と、居平地内に建設されていたモデルルームを改装した「ほんそん棟」の二棟があります。これにより早戸地区には、山菜など郷土料理が食べられる「竹のや旅館」、湯治客の素泊まり施設「つるの湯湯治棟」、リッチな気分で別荘のように過ごせる「一棟貸ヴィレッチ」という、それぞれ特色ある宿泊施設が3つ揃うことになりました。「つるの湯温泉」を核としてそれぞれの宿泊施設がそれぞれの特色を出しながら早戸地区、そして町の活性化に繋がっていき良いと感じました。



一夜限りの盆踊りを満喫！

文・写真 目黒民一さん(滝谷)

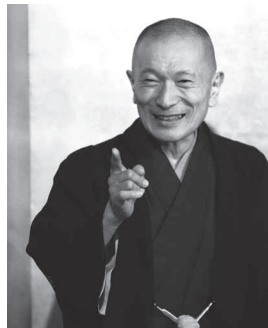
滝谷地区の盛夏の風物詩「お盆櫓踊り」は、今年も8月13日、地区集会所前広場で開催され、地区住民と帰省者が交流の輪を広げ、一夜限りの盆踊りを満喫しました。夕方、墓参りが済んで迎え火を焚く頃になると、会場の櫓や提灯にも明りが灯り、いよいよ櫓踊りのスタートです。力強い太鼓の音と、篠笛や鐘の軽快な音色とリズムは、若者が唄う独創的な甚句唄を引き立てます。趣向を凝らした仮装踊りも多く見られ、踊りの輪を一層盛り上げました。会場では有志による、焼き鳥や生ビール等の模擬店も並び大賑わいとなりました。

また、今年は「滝谷風穴」で保存したワインの試飲コーナーも有り、参加した人達は、希少でディープな！味覚を楽しんでいました。



“笑い”で暑さを忘れる「三遊亭竜楽独演会」

文・写真 小島 純さん(宮下)



今年で開催13回目を数える「西隆寺夕涼み寄席・三遊亭竜楽独演会」が8月24日、西方の西隆寺本堂で開催されました。午後6時30分の開演に合わせ、会津若松市や昭和村、遠くは東京都から熱心な落語ファン約50人が訪れました。遠藤弘佳和尚のあいさつの後、竜楽師匠が登場「そば清」「禁酒番屋」の2席で笑いを取り、お仲入りの後、人情噺の名作「子別れ」で、聴く人の涙を誘いました。集まった皆さんは、竜楽師匠の巧みな話芸に魅了され、暑さを忘れ聴き入っていました。

健康で元気な毎日に vol.34『秋バテ』していませんか？

町民課 保健福祉係 ☎ (48) 5565

夏の疲れが出始め、なんとなく元気がない、だるい、頭痛がする、食欲がない…暑い時期をなんとか乗り越え、少し涼しくなってきた今頃にそんな体の不調が現れることを、近年では「秋バテ」と言われるようになりました。

この症状、秋バテかも？

- ☒ 疲れやすい
- ☒ 食欲がない
- ☒ 胸やけや胃もたれがする
- ☒ 肩こりや頭痛がする
- ☒ 舌に白いコケのようなものがつく
- ☒ 無気力
- ☒ 顔色がくすんで見える
- ☒ なかなか眠れない
- ☒ めまいや立ちくらみがする



どうして秋バテになるの？

○秋の長雨と気候の変化

雨の日が多い初秋は気分も落ち込みがち。

また、日中と夜の気温差も大きく、体がついていけないために起こります（自律神経の乱れ）。



○夏の生活習慣を続けてしまう

冷たいものばかりを口にする则胃腸への負担が大きくなり、消化機能の低下や全身のだるさが起こってきます。

町民センター図書コーナー

「ゆめぽけっと」から図書のご案内

図書コーナー『ゆめぽけっと』利用時間
月～金 午前9時～午後9時 土・日・祝 午前9時～午後5時
※年末年始は閉館いたします。 ☎ 公民館 ☎ (48) 5599

腐女医の医者道！

作・絵：さーたり



外科医の日常とオタク道を赤裸々に描写し、メディアでも度々紹介されている話題の作品です。仕事と家事で超激務！な、毎日ながらも、常にパワフルな女医さんの姿に元気をもらえます。

わたしがノーベルしょうをとったわけ

作・ナカオマサトシ 絵：ドーリー

不思議な卵から生まれた不思議な生き物「メロウ」。私はメロウのことが知りたくて、観察日記をつけ始めた…。主人公の女の子の好奇心と愛情、周囲の大人たちの優しさが、ある奇跡を起こす！温かい気持ちになれる絵本です。



ノラネコぐんだんそらをとぶ

作・絵：工藤ノリコ



飛行場にあらわれたノラネコぐんだん。「かっていいね」「乗りたいね」と飛行機に忍び込んでレバーをガッチャン！無事、飛びたったものの、燃料が入っていないくて…！？第4弾目となる大人気絵本シリーズです。

☆新着本

題 名	著 者
英単語の語源図鑑	清水健二 すずきひろし
呪いの言葉の解きかた	上西充子
美しき愚かものたちのタブロー	原田マハ

町史編さん室だより

第44回

悲願の鉄道延伸、その陳情運動

昭和三年（一九二八）柳津駅まで開業された会津線（現在の只見線）が、昭和十六年（一九四一）十月二十八日に宮下まで延伸開業、同時に大規模なダム開発も行われ、村は隆盛期を迎えます。

物資の輸送をほぼ荷馬車に頼っていた原谷村、西方村、西川村（これに三谷村をあわせて現在の三島町）に鉄道が開通するまでには、数年に及ぶ陳情運動がありました。といつても、村長だけで国に直接請願することは難しく、河沼郡出身で「鉄道代議士」と評された八田宗吉氏や、大沼郡出身の中野寅吉氏といった地元出身の衆議院議員の協力が不可欠でした。

当町に残る記録の中で一番古いのは昭和三年一月十三日、会津中西部各村長が八田氏に面会するため、福島のホテルまで赴き「鉄道速成ノ請願」を行ったというものです。同年七月二十九日には各村長が東山温泉に宿泊していた氏と「鉄道問題ニ付種々打合せヲ了シ」、同年十一月一日には同じく各村長が東京まで行き、八田氏や鉄道省

の官僚などと面会、その後は八田氏と共に鉄道大臣である小川平吉氏や立憲政友会幹事長の島田俊雄氏に対して陳情しています。

昭和八年（一九三三）九月には「野岩羽及会津線鉄道速進期成同盟」が関係市町村により結成され、「一、山形県米沢ヨリ福島県喜多方ニ至ル鉄道 二、福島県柳津ヨリ只見ヲ経テ新潟県小出ニ至ル鉄道及只見ヨリ分岐シテ古町ニ至ル鉄道 三、栃木県今市ヨリ福島県田島ニ至ル鉄道 四、福島県柳津ヨリ野沢ニ至ル鉄道 五、福島県田島ヨリ館岩ヲ経テ古町ニ至ル鉄道」の5区間の開通について内閣総理大臣や鉄道大臣に陳情しました。現在の状況に照らし合わせてみれば、実際に開通した路線もあれば、構想のみにとどまった路線もあることがわかります。もし只見く古町く館岩く田島間の鉄道が開通していれば、若松と奥会津の線路が環状につながっていた可能性があったかもしれません。

昭和九年二月には柳津只見小出間に限定した鉄道期成同盟会の村

長達が連名で鉄道大臣に敷設を陳情、西方村長として山内政記氏、西川・原谷・三谷村組合長として渡部禎二氏の名がみえます。同年四月までに柳津く宮下間の鉄道新設が決まったよう、（前略）近々中二測量ニ着手（中略）鉄道ノ通路及停車場ノ位置問題ハ当組合村ノ文化ニ重大影響ヲ及ボス（後略）と記された管内有志による委員会の文書が見つかっており、どこに線路を通すのか、どこに停車場（駅）を設置するかについての協議や陳情を行う新たな段階に入ったことがわかります。同年五月二日には八田・中野両衆議院議員宛に数年前より甚大な御高配を賜ったことが鉄道速成の貴衆両院通過につながったと感謝する礼状が大沼郡中西部村長代表渡部禎二の名で出されています。

測量や用地買収などが終わり、実際に宮下までの鉄道延伸工事が着工したのは、二年後となる昭和十一年のことです。



昭和九年 陳情書添付柳津只見小出間鐵道略圖（周辺部省略）

ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまでご連絡ください。

☎ (52) 2165

環境研だより 第14回「再び『地域循環共生圏』」



三島町のみなさま、こんにちは。今年の夏は、前半の集中豪雨や肌寒いような期間、その後の急激な気温の上昇、お盆を過ぎた後の不安定な天気と、名づけるのが難しい季節だったかと思います。

先月は「環境」という言葉について取り上げました。その際、「地域循環共生圏(ちいきじゅんかんきょうせいけん)」という言葉に触れましたが、今月はこの言葉について考えてみたいと思います。

三島町では、私たちもお手伝いしながら「地域循環共生圏」という考え方をこれから推進していきたい、ということで話し合いを続けています。しかし、この言葉はいわゆる新語で、おおよその方向性は示しているものの、具体的な内容が確定しているわけではありません。そういう意味では「地方創生」といった言葉と似た状況にあります。



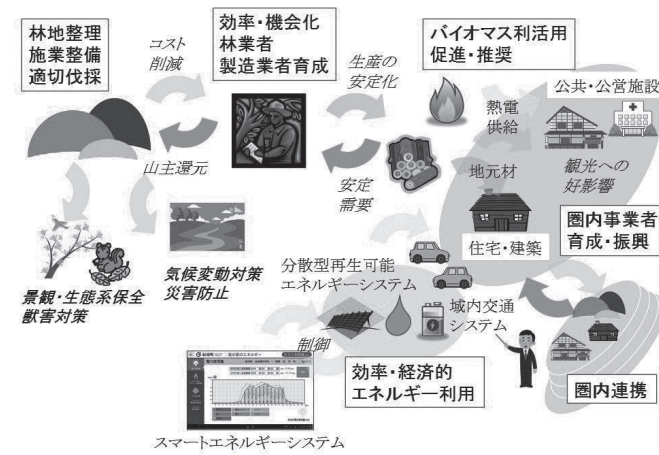
意見交換会の様子(2018年11月28日)

もう少し掘り下げてみましょう。広報みしま1月号で「地域循環」「共生」「圏」という言葉に分解できると書かせていただきました。逆に、それぞれの単語の逆の意味を考えると「グローバル」「競争」「一極集中」となります。この「逆・地域循環共生圏」は魅力的に聞こえますでしょうか？

国環研では、図のような、奥会津に豊かに広がる森を活用して、三島町内や近隣四町村くらいの規模で「持続可能な社会」の実現を目指すことを提言してきました。その第一歩として、まずは現在の荒れた山から木を切り出し、それらを燃料として電気や熱を地域でつくることを検討していますが、長期的

には、適切に管理された山から出てくる木材を様々な用途に活用し、地域を活性化する事業につなげたいと考えています。そして、この取り組みは「地域循環共生圏」がぼんやりと指している方向性を具体的に示していくもののだとも考えています。「編み組細工」といえば三島町は全国ブランドかと思いますが、「地域循環共生圏」といえば「奥会津三島町」と言われるように、私たちも微力ではありますが支援を続けたいと考えています。

「地域循環共生圏」を含め、国環研の三島町での取り組みを、日頃お世話になっている御礼もかねて町民の皆様にご紹介する「出前講座・町民講座」を、今年も開催します。日時が未確定でまだお知らせできないのですが、10月中旬に三島町内で開催する方向で調整しています。決まりましたらまたお知らせいたしますので、ふるってのご参加をお待ちしております。



三島町で実現する地域循環共生圏

＜筆者紹介＞

大場 真 (おおば まこと)

普段は郡山から三春まで1時間ほどかけて自転車で通勤していますが、先日頑張ったら40分で駆け抜けることができました。



●国立環境研究所福島支部

地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

県立宮下病院から

愛ばんしょ外来のお知らせ

「みしま健康ポイント」の対象です！



宮下病院では、毎週木曜日「愛ばんしょ外来」(在宅療養生活支援外来)を開設しています。

病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口

地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供

地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援

上記を目的に看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※費用は無料、予約不要です。どなたでも参加できますのでお気軽にお越しください。

月 日	内 容	講 師
9月12日(木)	・相談コーナー ・健康教室「便秘の薬について」	薬剤師
9月19日(木)	・相談コーナー ・健康教室「季節の変わり目は体調の変わり目」	看護師
9月26日(木)	・相談コーナー ・健康教室「便秘の薬について」	薬剤師
9月27日(金)	・相談コーナー ・住民交流事業「愛ばんしょレク」	

○時 間 相談コーナー：①午前9時～正午 ②午後1～午後4時 健康教室：午前10時30分～午前11時
住民交流事業：午前10時～午前11時30分

○会 場 宮下病院 外来待合室

診 察 日 記

～心不全について～



内科医長 佐藤 悠

「心不全」とご自分やご家族が診断されたことはありますか？少し前になりますが、平成29年10月に日本循環器学会と日本心不全学会により、「心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。」と定義されました。

一般的には心不全患者の5年生存率は約50%とされています。これは大腸癌と同等、前立腺癌や乳癌より不良な予後です。心臓の機能は、高

血圧症、心筋症、心筋梗塞、弁膜症、不整脈・・・など、様々な原因で悪化します。

一言で「心不全」と言っても、その原因や治療法は人それぞれです。禁煙、減塩、節酒、適度な運動など、心不全の発症予防に努め、健診異常など何かきっかけがあれば医療機関を受診してください。現在心不全の治療は進歩し、症状緩和や入院回避、余命の延長も期待できます。

患者さんご本人、ご家族、医療従事者、地域などがチームとなって発症予防、治療、再発予防に取り組んでいきましょう。

【佐藤 悠先生よりメッセージ】

宮下病院では内科を担当しています。よろしくお願いします。



消防署からののお知らせ

9月9日は「救急の日」

「救急の日」は、救急医療及び救急業務について皆様に理解と認識を深めていただき、かつ、救急医療関係者の意識高揚を図るために定められました。

◇町民の皆様へのお願い◇

具合が悪くなったり、ケガをしている方がいたら、速やかに119番に通報しましょう。

こんな症状が出たら救急車を！

- 意識がない、または朦朧^{もうろう}としている
- ろれつが回らなくなった
- 出血が止まらない
- 突然の強い頭痛や胸痛、腹痛 など



119番通報は、会津若松市内にある消防指令センターで集約され受理されます。特殊な装置が設置され、場所の特定が早く、受信する指令員も日ごろから訓練をし1秒でも早い緊急出動を心がけております。

様々な状況に応じた緊急車両を判断し迅速に出動するには、消防署への一般電話へ通報するより、やはり119番通報がいちばんです。

●会津坂下消防署 三島出張所
 一火事・救急・救助はー 電話 (52) 3032
 119番まで FAX (52) 3033



会津坂下警察署からののお知らせ

未納料金を要求する はがきやメールにご注意ください！



公的機関や債権回収業者とよく似た名前をかたり、はがき・メール・電話でアダルトサイト等の未納利用料金を請求されお金をだまし取られる被害が発生しています。**相手に連絡する前に、家族や警察に相談してください。**

●会津坂下警察署 生活安全係 ☎ 0242 (83) 3451

街頭犯罪発生件数 (7月31日現在)

区 分	管 内	三島町
強 盗		
空 き 巣	1	
忍 び 込 み		
事 務 所 荒 し	4	
出 店 荒 ら し		
自 動 車 盗		
自販機ねらい	5	
車 上 ね ら い	1	1
ひ っ た く り		
強制わいせつ	1	
街頭犯罪合計	12	1
そ の 他 刑 法 犯	38	5
全 刑 法 犯	50	6

特徴：7月中に事務所荒らしが発生しました。夜間、休日などは店舗内に現金を保管しないようにしましょう。防犯カメラなどの設備を強化するなどして被害防止に努めて下さい。

その他刑法犯等には、暴行・傷害・万引き・詐欺・器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、平成31年1月1日からの累計数となっています。

林業退職金并(済)制度(林退共)の退職金請求について

林退共は昭和57年に発足した林業界で働く方のための退職金制度です。以前、林業の仕事に従事されたことがあり、その当時林退共制度に加入していた方で退職金請求手続きをしたお心当たりのない方は、退職金をまだ受け取っていない可能性があります。最寄りの支部または本部へお問い合わせください。

●林業退職金并(済)事業本部 事業管理課 ☎ 03 (6731) 2889

視覚障がい者の教育相談のお知らせ

福島県立視覚支援学校では、疾病などによる視機能低下(著しい視力低下や視野狭窄、視野欠損等)により、進学や就労で困りの方のための教育相談を行っています。お気軽にお問い合わせください。

- 日 時 毎週月・水・金曜日の午前9時から午後4時まで
- 対象者 乳幼児から成人まで

●福島県立視覚支援学校 ☎ 024 (534) 2574

弁護士によるB型肝炎無料電話相談会

全国B型肝炎訴訟新潟・福島・山形原告団・弁護士が左記のとおり無料電話相談会を開催します。

- 日 時 9月21日(土) 午前10時から午後3時
 - 会 場 全国B型肝炎訴訟新潟事務所(新潟市)
 - 内 容 B型肝炎特別措置法に基づく給付金手続きに関する相談
- 電話番号 025 (223) 1130
- ※相談料は無料ですが通話料はかかります。

●全国B型肝炎訴訟新潟事務所 ☎ 025 (223) 1130

社会福祉協議会より

サロンのご案内

- ▼滝谷和楽塾(グラウンドゴルフ)
9月10日(火)10時〜旧滝谷分校校庭
- ▼サロンないり
9月13日(金)10時〜 名入集会所
- ▼浅岐あつたかサロン
9月17日(火)10時〜 浅岐集会所
- ▼間方いきいきクラブ
9月17日(火)10時〜 間方集会所
- ▼松原はつらつクラブ
9月19日(木)10時〜 松原集会所
- ▼大石田友遊サロン社会見学
9月27日(金) 会津三観音他
- ▼高清水・小山いきいきサロン
9月30日(月)10時〜 高清水集会所
- ▼大登サロン(グラウンドゴルフ)
10月1日(火)13時30分〜
大登生活改善センター
- ▼サロンないり・間方いきいきクラブ社会見学
10月4日(金) 喜多方市方面

ひとり暮らし高齢者親睦旅行のご案内

9月18日(水) 福島市方面

心配ごと相談所のご案内

9月19日(木) 9時30分〜11時30分
福寿草

●社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

町の人口と世帯

8月1日現在

人口	1,617	-6	出生	0
男	796	-6	死亡	6
女	821	0	転入	5
世帯	766	-3	転出	5

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

ご寄附ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附

ご遺志によるもの

二瓶悦子様(大谷)
五十嵐馨様(大谷)
川島光政様(大石田)

お悔み申し上げます

二瓶妙子(83才・大谷)
五十嵐良子(89才・大谷)
川島利吉(87才・大石田)

(8月届出・敬称略)

【納期限 9月30日】

- ▼国民健康保険税(第3期)
- ▼介護保険料【普通徴収】(第3期)
- ▼後期高齢者保険料【普通徴収】(第2期)

●町民課町民係 ☎ (48) 5555

忘れずにお納めください

編み組工芸品展

会津の

第15回
会場／三島町交流センター山びこ
●展示・販売 ●ものづくり体験コーナー ●会津地域で活躍する工人の実演



令和元年 10月19日・20日
19日／9:30～16:00 20日／9:00～16:00
(8:30から表彰式開催)



三島町へのアクセス



作品応募
応募方法

- ①編み組工芸品であること ②趣旨に即し、本展の品位を損なわないものであること
- ③出品者自身の製作(手作り)であること ④自然素材を材料に使用していること
- ⑤伝統的な技術技法によって製作されていること ⑥会津地方に在住していること

応募・問合せ／三島町生活工芸館 TEL:0241-48-5502 FAX:0241-52-2175
賞／主催、共催、後援より各賞があります。
※作品の搬入、搬出料は出品者の自己負担となりますのでご了承ください。

第9回
同時開催
※詳細は裏面に

会場／三島町生活工芸館2階
大工芸室



主催 奥会津三島編組品振興協議会(三島町生活工芸館内) TEL:0241-48-5502 FAX:0241-52-2175
〒969-7402 福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上395 <http://www.okuazu-amikumi.jp> E-mail kougeikan@town.mishima.fukushima.jp
【共催】三島町 【後援】福島県会津地方振興局・会津17市町村・福島民報社・福島民友新聞社(予定)

会津の編み組工芸品展 作品募集

出品条件

- ①編み組工芸品であること
- ②趣旨に即し、本展の品位を損なわないものであること
- ③出品者自身の製作(手作り)であること
- ④自然素材を材料に使用している事
- ⑤伝統的な技術技法によって製作されていること
- ⑥会津地方に在住していること

○応募先／問い合わせ

三島町生活工芸館

TEL0241 (48) 5502

FAX0241 (52) 2175

○応募締切

9月20日(金)

○賞

主催・共催・後援より各賞
があります

○主催

奥会津三島編組品振興協議会
(三島町生活工芸館内)

〒969-7402

三島町大字名入字諏訪ノ上395

福島民報の「日曜論壇」で、
県立博物館長の赤坂憲雄先生が、
吉田拓郎の「夏休み」という歌
について抜粋ですが次のような
事を述べておられます。

【やはりいい歌だと思ふ。さり
げない歌詞なのに、なぜか胸を
締めつけられるような淋しさが
ある】また、次のような事も書
いておられます。【拓郎の「夏
休み」は傑作である。夏休みと
いう時間の集合的な無意識にふ
れているからだ。】その後、夏
休みの終わるときの切なさ、日
本人にとって8月はお盆という
先祖の魂を迎えて、生者と死者
が交歓する、かけがえのない季
節なのである。】

最後の段では、広島・長崎の原
爆投下や南相馬の震災等を記述
し、鎮魂と供養の夏であった。と
締められています。

赤坂先生と私の出会いは、ふる
さと荘において会津学研究の発足
の場で先生にお目にかかったのが
最初であると記憶しております。
2002年から2004年まで、
全国的に市町村合併が猛威を振る
いましたが、結果的に当地域は合
併という「実？」を結ぶことなく
現在に至っています。

合併が破綻し、2007年か

2008年だと記憶しています
が、文化庁に過疎山村地域、特に
集落の文化財の保護及び活用のお
り方を提案、その後文化庁からそ
の提案を具体化していただけない
かという話があり、全国20力所が
文化庁の「歴史文化基本構想策定
市町村」に選定され、高山市や盛
岡市のような全国的にも有名地域
が指定になりましたが、当町のよ
うな人口規模の小さな町村が選ば
れたのは異例でありました。

歴史文化基本構想策定委員会の
委員長に赤坂先生に就任していた
だけないかをお願いしに、県立博
物館に向いた記憶があります。
赤坂先生は即答で快諾していただ
き、これで地域に根付いた持続可
能な過疎山村の文化構想を策定で
きると確信した記憶があります。
私は、拓郎の最も好きな「夏休
み」や「祭りのあと」そして「元
氣です」を口ずさむとき、赤坂先
生とは比較にならないレベルの低
さではありますが、同時代に生き
た「風」や「土」の波長を勝手に
感じています。
当町も都会の物差しではない、
三島の物差しを創造することが先
人に報いる「鎮魂と供養」の夏で
あると感じています。

三島町長 矢澤 源成